



お客様各位

2012年9月
発紘電機株式会社

富士電機グループ POD MONITOUCH

V8 シリーズ LED バックライト化に伴う注意事項 [第 2 版]

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて掲記の件ですが、昨今の液晶 LED バックライト化の流れにともない、モニタチ V8 シリーズのバックライトを CCFL 方式から LED 方式に変更致します。これにより、モニタチ V8 シリーズに関しまして、本体プログラム変更に伴う注意事項がございます。詳細を下記にご案内致しますので、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

お手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

—記—

1. 本体プログラム変更理由

V8 シリーズのバックライトを CCFL 方式から LED 方式に変更するため、本体プログラムをバージョンアップします。

2. 対象機種別の本体プログラムバージョン・切替スケジュール

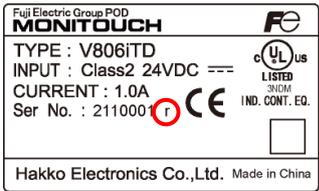
LED 方式の本体	本体プログラム Ver.	対応エディタ Ver.	対応ハード Ver.	切替スケジュール
V806iTD/TD V806iCD/CD V806iMD/MD	Ver. 1.890	Ver. 5.4.25.0	r	2012年12月1日 出荷開始
V808iCD/CD	Ver. 1.890	Ver. 5.4.25.0	r	2012年12月1日 出荷開始
V808iSD/SD	Ver. 1.890	Ver. 5.4.25.0	r	2012年11月7日 出荷開始
V810iC/iCD/C/CD	Ver. 1.830	Ver. 5.4.24.0	r	2012年9月1日 出荷開始
V810iS/iSD/S/SD V810iT/iTD/T/TD	Ver. 1.830	Ver. 5.4.24.0	r	2012年8月1日 出荷開始
V812iS/iSD/S/SD	Ver. 1.830	Ver. 5.4.24.0	r	2012年8月1日 出荷開始
V815iX/iXD	Ver. 1.890	Ver. 5.4.25.0	r	2012年10月1日 出荷開始

(AC/DC、マトリックススイッチ品を含みます。)

3. 注意事項

- LED 品は、前項 2. で記した本体プログラムバージョン以降でのみ動作します。
LED 対応前の本体プログラムにバージョンダウンできません。
お使いの V-SFT を対応エディタにバージョンアップしてください。
なお、CCFL 品は、どの本体プログラムでも正常に動作します。

■CCFL 品と LED 品の識別方法と本体プログラムの組み合わせ

	LED 品	CCFL 品
ハードバージョン (例: V806iTD)	「r」以降 	「q」以前 
メインメニュー 右上隅 (例: V812iS)	L を表示 	
本体プログラム	前項 2. 本体プログラム Ver. 参照 (※)	全て

※ 前項 2. に記す本体プログラムよりも古い本体プログラムにバージョンダウンできません。

- LED 品に、LED 対応前の本体プログラムを転送しても受け付けません。
詳しくは下表をご参照ください。

■本体プログラムの転送について (○: 本体プログラム転送可、×: 本体プログラム転送不可)

方法	LED 品	CCFL 品
V-SFT から	× エラーメッセージ(※)が表示され、 本体プログラムは転送されません。	○
CF カードから	× エラーメッセージは表示されません。 本体プログラムは転送されません。	○

※ V-SFT 上のエラーメッセージ



4. お願い

V-SFT Ver. 5.4.24.0 のホームページからのダウンロードは 2012 年 7 月 2 日対応済です。
V-SFT Ver. 5.4.25.0 のホームページからのダウンロードは 2012 年 10 月 1 日対応予定です。
LED 品への本体プログラムの転送が必要な場合は、弊社ホームページより V-SFT のバージョンアップをして頂き、更新をお願い致します。
(V-SFT のダウンロードは、初回のみ会員登録が必要です。)

URL : <http://www.hakko-elec.co.jp/>

以 上